|  |  |
| --- | --- |
| 令和2年度（2020年度）用 | 小学校社会科用 |

|  |
| --- |
| 「新しい社会」  **知識の構造図**  **【５年】** |

令和2年（2020年）2月14日版

東京書籍

□　知識の構造図　世界の中の国土

日本は，北半球およびユーラシア大陸の東に位置し，大韓民国，中華人民共和国，ロシア連邦などと隣り合っており，海に囲まれた大小の島々から構成され，広い領海をもつ島国である。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ④-2

中心概念 まとめる

（概念的知識）

日本の国土は、南鳥島、与那国島、沖ノ鳥島、択捉島を東西南北の端とし、海に囲まれた大小の島々で構成され、海をへだてて大韓民国や中華人民共和国、ロシア連邦などと隣り合っている。　　　　　　　　　③

・国土の広がりとまわりの国々

・主な島　・海岸線

世界の国々は、多様であり、それぞれ国旗が存在する。

②

・世界の主な国々

・国旗

日本は、海に囲まれた島国であるため、広い領海を持っている。また周辺国との領土をめぐる問題がある。

④-１

・領土

・領海

世界には六大陸と三海洋があり、日本はユーラシア大陸の東側、太平洋の西側に位置する。

①

・六つの大陸と三つの海洋

・緯度と経度

・赤道

社会的事象

（具体的知識）

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　つかむ　　　　　 調べる

□　知識の構造図　国土の地形の特色

日本の国土は，平地が少なく，山地が多く，火山が多い。川は山地から平地に向かって流れ，短く急である。

③-2

中心概念 まとめる

（概念的知識）

日本の川は、山地から平地に向かって流れ、外国に比べ短く流れが急である。また日本には大小さまざまな湖がある。

③-１

・川

・湖

日本の国土は、山地が多く、火山も多い。山地は南北に背骨のように連なり、平地は少ない。

②

・山地　・山脈

・火山　・高地

・高原　・丘陵

・平地　・平野

・盆地　・台地

我が国は、海に囲まれた島国であり、海岸線が長く、山がちな地形である。

①

・国土の地形

・海岸

社会的事象

（具体的知識）

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　 つかむ　　　　　　　調べる

□　知識の構造図　低い土地のくらし

海津市の人々は，明治時代の川の大改修を経て，水害を克服してきた。低地の地形を生かした農業や，季節ごとの楽しみを生かした観光などを通して，低地の自然環境を生かしたくらしをしている。　　　　　　　　　　　　　　　　　 　　⑤-2

中心概念 まとめる

（概念的知識）

輪中では昔から農業を行っていたが、道路や揚排水機場、パイプラインなどの整備により、豊かな水を生かした大規模な農業を可能にした。

④

・うめ立て

・揚水機場

・排水機場

・パイプライン

海津市の人々は、低い土地ならではの川や水を生かした楽しみがあり、市民のレクリエーションや観光などに広い土地や豊かな水を生かしている。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ⑤-１

・河川じき

海津市には、もともと川が入り組んで輪中が多くあったが、明治時代に、ヨハネス・デレーケが川の流れを完全に分け、水害の発生件数は大幅に減った。今でも水害に備えて地域の人々は協力して水防演習を行い、水害に備えている。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　③

・治水　・水屋

・排水機場

・水防演習

岐阜県海津市は、三つの大きな川の下流に広がる平らな土地で、多くが堤防で囲まれ、土地の高さがゼロメートル以下のところもある。

①

・水害

・堤防

・輪中

社会的事象

（具体的知識）

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　 つかむ　　　　 調べる

□　知識の構造図　高い土地のくらし

嬬恋村の人々は，高い土地に適応して生活しており，高原野菜の生産や，季節ごとの気候を生かした観光産業を行うことを通して，高原の自然環境を生かしたくらしをしている。

⑤-2

中心概念 まとめる

（概念的知識）

火山灰が積もってできた土地で野菜づくりには不向きだった嬬恋村を、人々が土地を改良して夏の涼しい気候を生かしたり、交通網の発達を生かしたりしながら全国一のキャベツの生産地にしていった。　　　　③

・火山ばい

・土地を耕す

・高原野菜

群馬県嬬恋村は、千メートル以上ある高原で、周囲は大きな山に囲まれている。東京に比べ一年中気温が低く、夏は特に涼しい。

①

・高原

・火山

・キャベツ畑

夏秋キャベツの生産は群馬県が最も多い。夏涼しい高原の気候を生かして、春から秋までの長い期間、何回にも分けて出荷している。

④

・嬬恋村のキャベツづくり

・予冷庫

・促成さいばい・抑制さいばい

嬬恋村には、高い土地ならではの楽しみが季節ごとにあり、自然や気候の特色をくらしに生かしている。

⑤-１

・スケートの授業

・ハイキング

・マラソン

・スキー

社会的事象

（具体的知識）

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　 つかむ　　　　調べる

□　知識の構造図　国土の気候の特色

日本の気候には，四季の変化が見られ，南北の位置，地形や季節風などによる地域差が大きい。また，つゆや台風等が，人々のくらしに大きく関係している。

③-2

中心概念 まとめる

（概念的知識）

日本各地の気候の特色は、年間の気温と降水量などで区分される。また、南北の位置や地形、土地の高さなどによって、雨の多い地域、雨の少ない地域、雪の多い地域のように気候は異なっている。　　　　　 ③-１

・気候（分布）

・気温（分布）

・地形

つゆや台風、季節風は、日本の気候を特色づけている現象であり、人々のくらしにも大きく関係している。

②

・季節風　・つゆ

・雪　・台風

・降水量

日本では四季の変化が見られ、日本列島が南北に細長く山がちなため、暖かい地域や寒い地域がある。四季の変化が見られることは、日本の気候の大きな特色である。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　①

・気候

・四季の変化

社会的事象

（具体的知識）

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　 つかむ　　　　　　　　 調べる

□　知識の構造図　あたたかい土地のくらし

沖縄県では，夏の暑さや台風からくらしを守る工夫をするとともに，あたたかい気候や美しい自然を生かした観光産業がさかんで，気候を生かした特産物があるなど，自然条件を生かしたくらしをしている。　　　　　　　　　　　　　　 ④-2

中心概念 まとめる

（概念的知識）

沖縄県では、一年を通して気温や湿度が高い気候に合ったさとうきびを栽培している。また、パイナップルなど沖縄県の気候に合う特産物も栽培している。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　②

・さとうきび

・「沖縄の宝」

・パイナップル

沖縄県の人々は、歴史ある豊かな文化と自然を大切にし、自分たちの文化を守り、次の世代に引き継ぐ努力をしている。

④-１

・文化（琉球文化）

沖縄県は、一年を通してあたたかい気候や、美しい自然を生かした観光産業がさかんで、多くの観光客がおとずれている。

③

・気候と自然を生か

　す観光産業

・さんごしょう

・プロ野球のキャンプ

沖縄県は、夏は暑い日が長く続き、台風が多く、一年を通してあたたかい気候である。人々は夏の暑さや台風に備え、家のつくりなどを工夫してくらしを守っている。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　①

・沖縄県（那覇）の気温と降水量

・３月の海開き

・伝統的な家

・コンクリートづくりの家

社会的事象

（具体的知識）

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　つかむ　　　　　　　調べる

□　知識の構造図　寒い土地のくらし

北海道の人々は，冬の寒さや雪からくらしを守る工夫をするとともに，夏の涼しさや雪を生かした観光や広大な土地を使った農業などがさかんで，北海道の自然条件を生かしたくらしをしている。　　　　　　　　　　　　　　　　　　 ④-2

中心概念 まとめる

（概念的知識）

十勝地方では、広大な土地や夏でも涼しい気候を生かして農業を行っている。

③

・十勝平野

・輪作

・大型の機械

北海道には、昔から先住民族のアイヌの人々がいて、独自の文化をつくってきた。

④-１

・アイヌ文化

・先住民族

雪の多い札幌市では、除雪を行うなど雪を克服したり、雪を生かして観光を営んだりしている。

②

・雪対策　・除雪

・雪たい積場

・ゆう雪施設

・雪まつり

北海道は、冬は雪が多く寒い日が長く続き、夏は涼しい気候であり、自然が多く残されている。人々は冬の厳しい寒さに備え、家のつくりなどを工夫してくらしている。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　①

・札幌市の気温と降水量

・スキー学習

・三角屋根の家と無落雪の家

・断熱材

社会的事象

（具体的知識）

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　つかむ　　　　　　　調べる

□　知識の構造図　くらしを支える食料生産

我が国の食料生産は，自然条件と深いかかわりをもって営まれ，全国には米をはじめ，野菜，果物，畜産物，水産物などのさかんな地域が分布している。

④

中心概念 まとめる

（概念的知識）

野菜、果物、畜産物は、自然条件に影響を受けて生産されるため、主な産地はそれぞれ異なっている。

③

・生産額

・消費地

・気候のえいきょう

米をはじめ、野菜、果物、畜産物、水産物などの食料は、全国各地で生産されていて、外国から来る食料もある。

①

・スーパーマーケットのちらし

・産地

米は全国各地で生産されていて、主な産地は東北地方と北海道である。

②

・水田

・耕地

・棚田

社会的事象

（具体的知識）

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　 つかむ　　　　　　　　 調べる

□　知識の構造図　米づくりのさかんな地域

米の生産にかかわる人々は，自然条件を生かしたり，生産の工程や輸送方法を工夫したりして，安全でおいしい米を消費者に届けるために努力している。

⑧

中心概念 まとめる

（概念的知識）

米づくり農家は、種もみを選ぶところから、出荷前にもみすりをするところまで、工夫や努力を重ねている。

③

・専業農家

・兼業農家

・種もみ

・カントリーエレベーター

・庄内平野

・防砂林

・日照時間

・季節風

米づくりのさかんな庄内平野では、米づくりに適した自然条件がそろっている。

①

・カントリーエレベーター

・輸送

・費用

生産された米は、輸送方法を工夫して、消費者に届けられている。

⑥

農業協同組合や水田農業試験場などは、安全でおいしい米づくりのために、農家を支援している。

⑤

・農業協同組合（ＪＡ）

・営農指導員

・品種改良

・水田農業試験場

米づくり農家は、耕地整理や機械化を進め、生産性を高める工夫や努力を進めてきた。

④

米づくり農家は、農業従事者の減少などの課題を抱えているが、課題解決のために工夫や努力を重ねている。

⑦

・転作　・生産調整

・農作業の共同化

・種もみの直まき

社会的事象

（具体的知識）

・生産性

・用水路　・排水路

・耕地整理

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　つかむ　　　　調べる

□　知識の構造図　水産業のさかんな地域

我が国の水産業は，自然条件を生かして営まれており，水産業に関わる人々は，生産性や品質を高めるよう努力したり輸送方法や販売方法を工夫したりして，良質な食料を消費地に届けるなど，食料生産を支えている。　　　　　　　　　　 ⑦

中心概念 まとめる

（概念的知識）

長崎市では、とらふぐの養殖がさかんで、様々な工夫がされている。水産センターでは、魚や貝の卵を育てたり、さいばい漁業を行ったりして水産資源を守っている。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　④

・養しょく

・赤潮

・さいばい漁業

長崎漁港で水あげされた魚は、魚市場でせりにかけられ、全国へ運ばれる。魚が消費者に届くまでには、様々な人々が関わり価格が変動する。

③

・長崎魚港

・魚市場　・せり

・トラック輸送

・水産業

・暖流と寒流

・漁場　・漁港

・大陸だな

日本は世界有数の魚介類の消費国であり、魚介類は重要な食料である。日本のまわりには寒流・暖流が流れていてよい漁場があり、全国に多くの漁港がある。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　①

・すり身

・かまぼこ

・水産加工

長崎漁港のそばには、すり身をつくる工場やかまぼこ工場などがあり、漁港でとれた魚を加工して消費者のもとへ届けている。

⑤

長崎県では、沖合漁業がさかんである。沖合漁業では魚群探知機で魚の群れを探し、船団を組んだまき網漁が工夫して行われている。

②

・沖合漁業

・魚群探知機

・まきあみ漁

・水あげ

日本では、２００海里水域の影響もあり、遠洋漁業や沖合漁業の生産量は減っている。漁業で働く人の数も減っていて、水産業の課題を改善していく必要がある。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　⑥

・２００海里水域

・漁獲量

・遠洋漁業

・沿岸漁業

・漁業で働く人数の変化

社会的事象

（具体的知識）

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　つかむ　　　　調べる

□　知識の構造図　これからの食料生産とわたしたち

食料の多くを輸入に依存する我が国では，食の安全・安心の確保，持続可能な食料生産・食料確保が重要な課題になっており，食料自給率を上げることが大切である。

④-2

中心概念 まとめる

（概念的知識）

食生活が西洋風に変化し、我が国の食生活は多くを輸入にたよっている。一方で大量に食料が廃棄されている現実もある。

②

・和食と洋食

・食生活の変化

・輸入量

・食品ロス

生産者は、消費者の声に応えながら、食料生産の発展に向けた新しい取り組みを進めている。

⑤

多くの食料を輸入にたよる我が国は、食料を安定的に確保していくことが大切であり、その一つとして地産地消の取り組みがある。

④-１

・地産地消

・産業別人口

消費者の食の安全・安心への関心が高まり、スーパーマーケットなどではトレーサビリティの取り組み、検疫所では輸入食品の検査などの取り組みを行い、食の安全・安心の確保に努めている。　　　　　　　　③

・消費者

・食の安全・安心

・トレーサビリティ

・検疫所

我が国の食料生産や食料確保には、米余り、輸入の増加、安全な食料の生産・確保、農業や水産業で働く人の減少など、さまざまな課題がある。

①

・食料生産

・食料自給率

・輸入

社会的事象

（具体的知識）

・新しい食料生産

・価値の高い農産物

　や水産物

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　つかむ　　　　 調べる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　いかす

□　知識の構造図　くらしを支える工業生産

日本は工業のさかんな国であり，さまざまな種類の工業が営まれている。また，日本では，太平洋ベルトをはじめ，全国各地に工業地域が分布している。

　　　　　　　　　　　　　　　 ③-2

中心概念 まとめる

（概念的知識）

日本では、全国各地に工場が分布している。多くの工場が集まり、工業生産がさかんな地域は、工業地域や工業地帯とよばれている。

②

・大工場と中小工場

・工業生産額

・工業地域・工業地帯

日本では、各地でさまざまな工業がさかんに営まれている。

①-２

・さまざまな工業製品

・工場

・機械工業

・金属工業

・化学工業

・食料品工業

・せんい工業

・そのほかの工業

工業は、機械、金属、化学、食料品などに分類することができ、さまざまな工業製品がわたしたち国民の生活を支えている。

①-１

日本の工業のさかんな地域は、太平洋ベルトを中心に海沿いに多く分布している一方で、内陸部にも分布している。

③-１

・工業のさかんな地域

・太平洋ベルト

社会的事象

（具体的知識）

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　つかむ　　　　　　 調べる

□　知識の構造図　自動車をつくる工業

自動車生産に関わる人々は，消費者の需要や社会の変化に対応し，優れた製品を生産するようさまざまな工夫や努力をして，工業を支えている。

⑦

中心概念 まとめる

（概念的知識）

生産された自動車はキャリアカーや船で国内や海外に輸送される。また、海外での現地生産がさかんになっている。

⑤

⑥

・キャリアカー

・自動車専用船

・現地生産

・

・

・工業製品

・ハイブリッド車

・排出ガス

わたしたちの生活に欠かせない自動車は時代とともに変化してきた。それらは自動車工業のさかんな地域で作られている。

①

①

自動車は、組み立てラインにのせられ、さまざまな工程を経て完成する。

③

・組み立てライン

・プレス

・ようせつ

自動車は、組み立て工場と部品をつくる関連工場が協力して生産される。

④

・組み立て工場

・関連工場

自動車会社では、消費者の需要や社会の変化に対応して、よりよい製品を生み出している。

　⑥

⑨

・自動車のリサイクル

・燃料電池

・福祉車両

・自動運転・安全性

・

社会的事象

（具体的知識）

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　 つかむ　　　調べる

□　知識の構造図　工業生産を支える輸送と貿易

運輸や貿易は、日本の工業生産に必要な原材料を確保したり工業製品を各地に届けたりするなど，工業生産にとって重要な役割を果たしている。

⑤-2

中心概念 まとめる

（概念的知識）

工業製品は、製品の種類や量、輸送する場所によってトラックや鉄道、船、飛行機などを使い分けながら各地に輸送されている。

②

・トラックターミナル

・交通網

・運輸

日本は、輸入した原料をもとに、高い技術によって生産した製品を海外に輸出している。また、輸出するだけでなく、現地生産も増えている。

④

・鉄鋼

・集積回路

・輸出額

原料や資源の多くを輸入している日本は、再生可能エネルギーの開発をして輸入にばかり頼らない取り組みを進めたり、世界との良好な結びつきを大切にしたりする必要がある。　　　　　　　　　　　　 　⑤-１１

・資源

・再生可能エネルギー

日本は、工業生産に必要な燃料や原料だけでなく、国内ではつくれないものや国内よりも安くつくれる製品を輸入している。

③

・燃料や原料

・輸入額

・貿易

・輸送

日本の工業では、工業製品が輸送によって運ばれるとともに、港や空港を通じて貿易が行われている。

①

社会的事象

（具体的知識）

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　　つかむ　　　調べる

□　知識の構造図　これからの工業生産とわたしたち

日本の工業生産は，資源の確保や人口減少などの課題があるなか，高い技術や伝統的な技術を生かしたり工場どうしが技術をもち寄って製品をつくったりするなど，国内外で評価される取り組みを行って発展していこうとしている。　　 ⑤-1

中心概念 まとめる

（概念的知識）

北陸地方の工場では、昔から伝わる技術を生かして産地ブランドとしたり伝統的な製品をつくったりして、他地域とは違った特色を出して生産している。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　②

・産地ブランド

・伝統的な工業

日本の工業生産では、大工場による生産だけでなく、中小工場による生産も大きな割合を占めている。

①

・大工場と中小工場

大田区の工場では、その工場でしかできない技術を発揮したり工場どうしで技術をもち寄るなどの協力をしたりして、国内外で評価されるような製品をつくっている。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　③

・オンリーワン

・仲間まわし

・中小工場

日本の工業生産がこれからも発展していくためには「資源確保」「高い技術」「環境への配慮」「多様なニーズ」「消費者目線」など、さまざまな視点から工業のあり方を考えていく必要がある。　　　　　　　⑤‐２

日本の工業生産には、資源の確保や人口減少、国内生産の圧迫などの課題があり、これらに対して新しい技術やしくみを発展させていくことが求められている。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　④

・少子高齢化

・持続可能な社会

社会的事象

（具体的知識）

・資源

・技術

・品質

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　 つかむ　　　　 調べる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　 いかす

□　知識の構造図　情報産業とわたしたちのくらし

放送局の人々は，人々が求めている情報を選ぶとともに，見る人が情報を役立てられるように伝え方を工夫して放送している。情報には，人々の行動を決めるきっかけとなったり，報道被害や社会の混乱を起こしたりするなど大きな影響がある。　　　 ⑥

中心概念 まとめる

（概念的知識）

放送局は、番組を見る人が求めている情報を選ぶとともに、見る人が情報を役立てられるように伝え方を工夫して放送している。

④

④

・副調整室

・番組進行表

テレビなどの情報は、人々の行動を決めるきっかけとなったり、報道被害や社会の混乱を起こしたりすることがある。

⑤

⑤

・報道被害

・コマーシャル

・政見放送

放送局は、１本のニュース番組をつくるために、正確さや詳しさ、人権や公平、公正さを考えつつ、見る人が求める情報となるように工夫している。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　③

・編集長

・人権

・ニュース番組

・メディア（マスメディア）

ニュース番組では全国や世界の出来事、天気予報などの情報が、その日のうちに放送されている。

①

社会的事象

（具体的知識）

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　　つかむ　　　　　調べる

□　知識の構造図　情報を生かす産業

大量の情報や情報通信技術などの活用は，我が国のさまざまな産業を発展させ，国民生活を向上させている。

⑤

中心概念 まとめる

（概念的知識）

販売の仕事をするコンビニエンスストアでは、商品の配送にも情報が生かされ、それは地域の人々の安全・安心を確保する取り組みにもつながっている。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　③

④

・カーナビゲーション

・商品の配送

販売の仕事をするコンビニエンスストアでは、情報通信技術を活用し、ほかの産業ともつながりながらサービスの幅を広げている。

④

・情報通信技術  
（ICT）

・サービス

販売の仕事をするコンビニエンスストアでは、商品の販売に情報を生かしたり、大量の情報を活用して商品の開発を行ったりしている。

②

・大量のデータ

・POSシステム

・ポイントカード

・人工知能（AI）

・電子マネー

・スマートフォン

情報通信技術が発達し、人々のくらしやさまざまな産業において情報が活用されている。

①

社会的事象

（具体的知識）

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　　つかむ　　　　　調べる

□　知識の構造図　情報を生かすわたしたち

家庭や社会では日常的に情報が活用され，インターネットの活用は，便利さをもたらす反面，いじめや犯罪などの問題も起きており，メディアリテラシーを身に付け，ルールやマナーを守って活用することが大切である。　　　　　　　　　④‐1

中心概念 まとめる

（概念的知識）

インターネットはたくさんの情報を送ったり得たりすることができるが、問題が起きることもあり、ルールやマナーを守った活用が大切である。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　②

・情報活用

・ルールやマナー

・インターネット

・オンライン

情報の活用に当たっては、確かな情報を収集・選択して使うこと、誤った情報や個人情報等を発信しないことが大切である。

④‐２

学校での調べ学習の場面でもインターネットは効果を発揮するが、そのためには正しい使い方をする必要があり、メディアリテラシーを身に付けることが大切である。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　③

④

・メール

・メディアリテラシー

情報は日常的に活用され、便利さを提供する反面、トラブルに巻き込まれるなどの問題点もある。

①

・SNS

・ネットショッピング

・パソコン

・スマートフォン

社会的事象

（具体的知識）

・情報活用宣言

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　 つかむ　　　　　　　 調べる　　　　　　　　　　　　　　　　 いかす

□　知識の構造図　自然災害を防ぐ

自然災害は国土の自然条件などと関連して発生している。自然災害から国土を保全し国民生活を守るために国や県などがさまざまな対策や事業を進めている。

⑤-2

中心概念 まとめる

（概念的知識）

日本は、つゆがあり台風が良く来る場所にあるため、風水害の被害が大きくなりがちである。そのため、砂防ダム、放水路、ハザードマップなどの多様な対策を各都道府県が行っている。　　　　　　　　　　　④

・砂防ダム

・放水路

・ハザードマップ

火山の噴火に備えて、気象庁では常に観測を行っている。また，大雪に備えて雪崩を防ぐ柵などを道路の脇につくっている。

⑤-１

・火山の観測

・雪崩予防柵

大津波からの被害を減らすために、各都道府県では、防潮堤や津波避難タワーを建設しているほか、防災訓練などを行っている。

③

・防潮堤

・津波避難タワー

・防災訓練

日本は複数のプレートの出合う場所にあり、内陸にも断層が多く地震が多い。地震の前触れについて話し合い、実際に地震が起きたときの対応も国は検討を行っている。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　②

・プレート

・緊急地震速報

・中央防災会議

・地震災害

・津波災害

・風水害

・火山災害

・雪害

日本ではさまざまな自然災害が頻繁に発生しており、これからも発生する可能性がある。

①

社会的事象

（具体的知識）

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　つかむ　　　　　調べる

□　知識の構造図　わたしたちの生活と森林

日本の国土には豊かな森林があり，その育成や保護に従事している人々のさまざまな工夫と努力により守られており，国土の保全や森林資源など重要な役割を果たしている。

⑥

中心概念 まとめる

（概念的知識）

林業に従事する人々は何十年もかけて木を育てている。人々は、山の環境を守りながら林業を行っている。

④

⑤

・人工林　・林業

・森林組合・間ばつ

・木材

森林には、防雪林や土砂崩れを防ぐなどわたしたちの生活を守ったり、水をたくわえたりする働きがある。わたしたちのまわりには、森林資源を生かしたさまざまな木材製品があり、生活を支えている。　　　　⑤

・水源林　・防雪林

・防砂林　・防風林

・木製品

・

世界遺産である白神山地のぶなの森の恵みは、観光資源、動植物のすみか、赤石川の源流資源として役立っている。その自然を守るためにさまざまな人々が働いている。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　③

　　　　　　　　　　　　　　　　　　③

④

・天然林・白神山地

・赤石川・世界遺産

・源流

・

・

・日本の土地利用

・森林資源

森林は、日本の国土面積の約３分の２を占めている。森林は全国に広がっており、国土の保全などさまざまな働きがある。

①

①

社会的事象

（具体的知識）

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　　つかむ　　　　　調べる

□　知識の構造図　環境を守るわたしたち

鴨川では，これまで市や工場，地域の人々などのさまざまな努力により，公害の防止や生活環境の改善が図られてきており，環境保全につながる継続的な取り組みをすることや，健康な生活を守ることが大切である。　　　　　　　　　　　　 ⑤

中心概念 まとめる

（概念的知識）

高度経済成長によって日本の産業が発展するなか、国民生活は便利になったが環境に対する国民の意識が低く公害が発生した。鴨川でも住民の意識が低く、川が汚れてしまった。　　　　　　　　　　　　　　　②

・高度経済成長

・公害

鴨川は京都市の産業を支えるだけでなく、市民の憩いの場として親しまれているが、五十年以上前は、とても汚れていた。

①

①

・鴨川

・BOD

きれいになった鴨川を守るために、住民たちが川に親しむイベントを行ったり清掃活動を行ったりして、人々の環境への意識を高める取り組みをしている。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　④

・鴨川を美しくする会

・条例

全国的に公害が広がったころ国は法律などを定めた。京都市は、下水道の整備や工場排水を規制し、川を汚さないために工場などの協力をすすめた。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　③

・法律

・下水道の整備

・工場排水の規制

・友禅染

自然を守りながら人々が生活していくために、どのようなことを大切にしなければならないか、ことなる立場の人々の意見もふまえながら考えていくことが必要である。　　　　　　　　　　　　　　　　　　　❶

・ことなる立場

・環境

・自然に対する二つの考え方

社会的事象

（具体的知識）

用語・語句

問題解決的な

学習の過程　　 つかむ　　　　調べる　　　　　　　　　　　　　　　　　　　いかす